

# 中核市サミット 福井宣言 2025

中核市は、地域の中核都市として、地方分権の推進と地域の発展に大きな役割を果たしてきました。

人口減少、少子高齢化の急速な進行と、社会・経済環境の目まぐるしい変化により、中核市の役割が多様化する中、市民の暮らしの質をさらに高めていくためには、様々なニーズに柔軟に対応するとともに、地域資源を活用し、新たな価値や魅力の創出に取り組むことが重要です。

本サミットでは、「幸福を実感できる中核市の実現～一人ひとりが紡ぐ 希望あふれるまちづくり～」をテーマに、「スポーツを通じた楽しいまちづくり」「地域に密着した安心な福祉体制のあり方」「『元気×イノベーション』～未来を創る地域づくり～」に焦点を置いて議論を行い、次のとおり、全国の中核市が連携して取り組むこととしました。

- 1 心身の健康増進やシビックプライドの醸成、人と人をつなげる力など、スポーツが持つ多様な豊かな価値を再認識し、観光や教育、地域交流など他の分野と融合させることで、地域の魅力を高めて活性化につなげていく「スポーツを通じた楽しいまち」を目指します。
- 2 日々の暮らしの中でさまざまな困難に直面している市民を包括的に支援し、人と人とのつながりや自分の居場所を持てる環境づくりを進めることで、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせる「地域共生社会」の実現を目指します。
- 3 多様な主体と連携し、地域資源を活用した「地域発イノベーション」を創出・展開することで、地域課題の解決や産業の振興につなげ、自律的かつ持続的に発展する「未来を創る元気な地域」を目指します。

中核市62市の人口は約2,228万人となり、全国における存在感と地方自治の理念の実現に向けた中核市の責任は、今後もより一層大きくなっていきます。

私たち中核市は、地域の持続的な発展に向けて、責任と権限を十分に活かしながら、市民一人ひとりの想いを紡ぎ、ともにまちづくりを進めることで、市民が幸福を実感し、希望あふれるまちの未来につなげていくことを、ここに宣言します。

令和7年10月30日

中核市市長一同